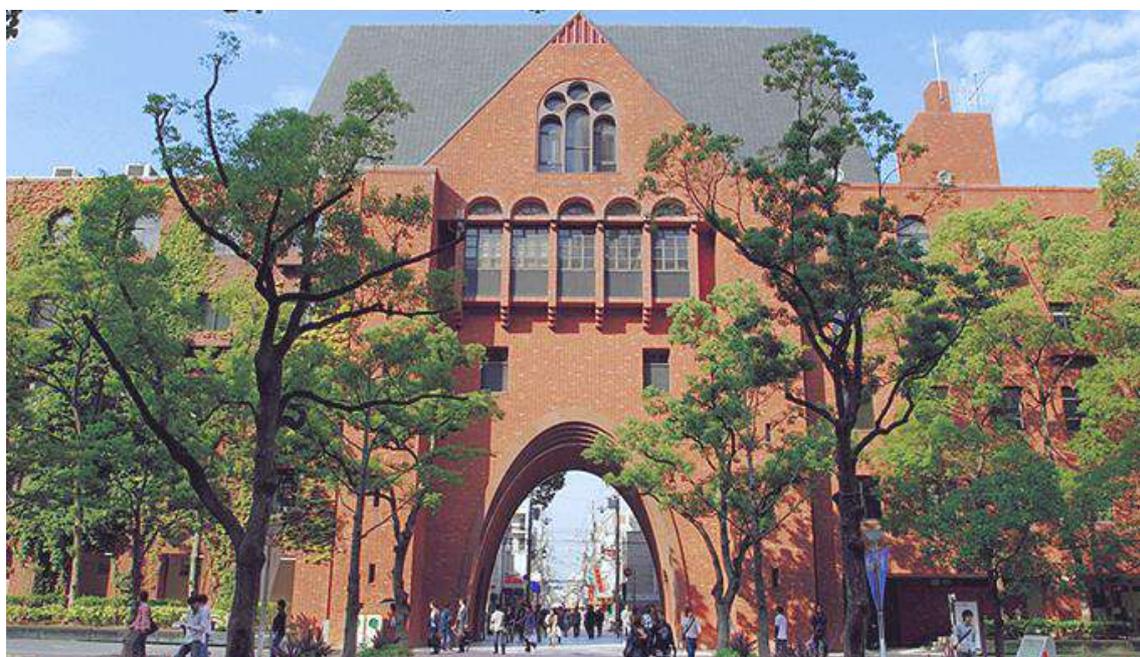


【日本の大学】第 68 回——近畿大学：実学重視の総合マンモス大学

近畿大学は大阪府東大阪市に本部があり、現在、15 学部 49 学科を擁し、総志願者数（推薦入試を含む）が 20 万人超、在籍学生数は約 3 万 4000 人に上る日本でも有数のスケールを誇る私立の総合大学である。キャンパスは本部のある大阪を中心に和歌山、広島、九州・福岡など、西日本全域に広がっている。

建学の精神としては、未来志向の「実学教育と人格の陶冶（とうや）」を掲げており、この精神を実現するための教育理念としては「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を標榜している。



西門、大学のシンボルともいえるレンガ造りの門

「学びたい者すべてに学ぶ場を」

こうした精神や理念は、政治家で大学の創設者である世耕弘一氏（初代総長）に負うところが大きい。和歌山県の寒村に生まれた世耕は、苦学の末、日本大学を卒業し、政治家となった。貧しさから一度は進学を断念した経験から、「学びたい者に学ばせたい」として、近畿大学の創設に情熱を傾けたという。世耕氏が目指したのは、「医学部から文学部」まで全学部をそろえ、すべての日本人が大学教育を受けられる時代を見据えた「総合大学」「大衆大学」の実現であった。

以下、近畿大学のホームページなどを参考に、大学の歴史と現状をみていこう。

近畿大学の始まりは、1925年に設立された大阪専門学校（日本大学専門学校）である。法律科や政治科など文科系の学校であった。1943年には理系の大阪理科大学が設立され、この2校が近畿大学の母体となった。大学が発足したのは戦後の1949年、この2校が合併して設立された。理工学部と商学部の文理2学部でのスタートだった。

その後は、次々に新しい学部や組織が立ち上げられた。1950年には法学部と短期大学部が設置された。1952年には大学院の商学研究科、化学研究科修士課程が設けられている。さらに、薬学部（1954年）、通信教育部（短期大学部）（57年）、農学部（58年）、工学部（59年）など、毎年のように新学部が発足した。

さらに1966年には、第二工学部（現・産業理工学部）、74年には医学部、89年には文芸学部、93年には生物理工学部が立ち上がっている。この間、多くの大学院（修士、博士課程）や分子工学研究所、ライフサイエンス研究所、東洋医学研究所といった各種研究所も設立されている。



39号館（薬学部）

スタート時の商学部はその後、商経学部と名を変え、2003年には経済学部と経営学部になった。経済学部は経済学科、国際経済学科、総合経済政策学科の3学科からなっている。経済学科は、経済学コース（理論・計量、財政・金融、産業・情報、歴史・社会の4分野）

と経済心理学コースの二つのコースがある。国際経済学科では、国際産業・金融と国際地域経済の2つの分野があり、国際的な視点で経済学を学ぶ。総合経済政策学科は公共政策分野と企業戦略分野があり、フィールドワークを通して現場から経済学を学ぶ。

経営学部は、企業が有するヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源をいかに効果的な配分・活用して企業を発展させるかを考え学んでいく。経営学科、商学科、会計学科、キャリア・マネジメント学科の4学科で構成されている。学部全体で、独自の英語特修プログラムを用意し、1学期間の派遣留学も可能にしている。公認会計士や税理士などの専門的職種を目指す学生を対象に集中的学習プログラムも開設している。

大学創立とともに発足した理工学部は当初、数学物理学科、化学科、機械工学科、土木工学科の4学科だった。その後、応用化学科、電気工学科、原子炉工学科、金属工学科、建築学科、電子工学科、経営工学科などが次々に加わり、11学科となった。2002年には11学科を8学科に改組、このうち数学物理学科、化学科を数学、物理学、化学の3コースからなる理学科に改編した。あとは生命科学科、応用化学科、機械工学科、電気電子工学科、社会環境工学科、建築学科、情報学科である。



原子力研究所、私立大学で唯一、教育・研究用の原子炉。

2011年には建築学部を設置したことに伴い、建築学科の入学を停止した。(7学科体制)

理工学部は2022年には再び改組がなされ、情報学科が情報学部となり、エネルギー物理

学科を新設し、電気電子工学科を電気電子通信工学科に名称を変更した。現在は、7学科で構成され、約4000人の学生が学んでいる。

法学部の淵源は、大阪専門学校（1925年）設立時にあった法律科からつながっている。大学では1950年に法学部第1部、第2部（法律学科）の設置を認められた。法的に物事を考える姿勢を身につけ、激動する社会の中で、自分を見失わず、社会構造の変化にも積極的・柔軟に対応できる広い視野と、豊かな思考の持ち主を養成するとしている。



C館（法学部）

西日本全域に新学部

4番目の学部として1954年に誕生した薬学部は、2006年からは6年制の医療薬学科と4年制の創薬科学科の2学科を設置している。「実学教育」を重視し、人々の健康や福祉に貢献できる薬剤師・薬学人の育成を理念としている。

農学部は1958年に設置された。農学科と水産学科の2学科でスタートした。その後、農芸化学科（1962年）、食品栄養学科（67年）、国際資源管理学科（92年）が加わるとともに、1989年には奈良市北部の緑豊かな丘陵地帯にある広大な新キャンパスに引っ越した。「チャレンジ精神を持ち、心豊かで社会に貢献できる人材の育成」を教育理念としている。



農学部（奈良県）

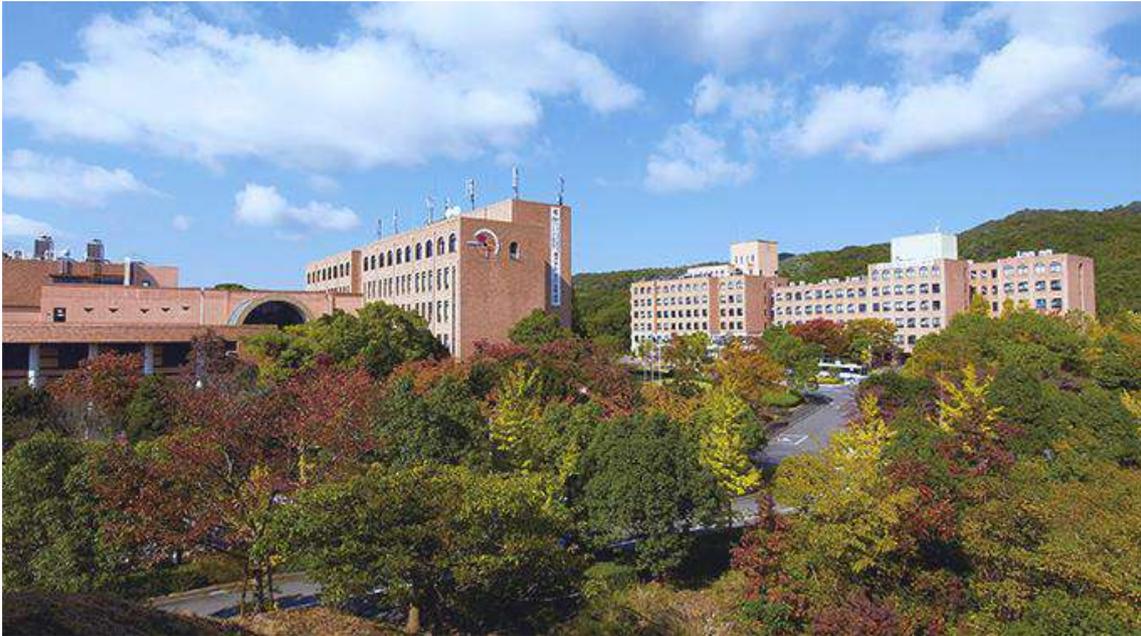
工学部は1959年に広島県呉市に設置された。工業化学科と機械工学科の2学科体制だった。1962年には経営工学科、65年に建築学科を加えた。1991年には広島県東広島市にキャンパスを新設、工業化学科と建築学科を移設した。翌年には電子情報工学科と機械システム工学科を新設して6学科体制となった。2001年に現在の広島キャンパスに統合した。その後、時代の要請などに合わせて学科名の変更が続き、現在は、工業化学科が化学生命工学科に、機械システム工学科がロボティクス学科に、経営工学科が情報学科となるなど、6学科体制となっている。



工学部（鹿児島県）

理系の学部としてはほかに、産業理工学部と生物理工学部がある。産業理工学部は 1966 年に九州・福岡に第二工学部として設置された。85 年には九州工学部となり、2004 年には文系 1 学科と理系 4 学科を持つ文理融合の学部として名称を産業理工学部に変更している。学科は文系の経営ビジネス学科と、理系の生物環境化学科、電気電子工学科、建築・デザイン学科、情報学科の計 5 学科 13 コースからなっている。

生物理工学部は和歌山県の最北端の和泉山脈の麓に、1993 年に 10 番目の学部として開設された。生物、工学、理学系の各分野の学際的融合を目指して設立された。現在は、植物や微生物が有する多様な機能を活用して食糧・環境・医療問題の解決に取り組む「生物工学科」、様々な生物の遺伝子を多角的で総合的な視点から研究する「遺伝子工学科」、生産現場から食卓まで食の安全に関するサイエンスを研究する「食品安全工学科」、生物が発する生体信号を情報技術によって先端的生命科学研究に応用する「生命情報工学科」、人間が体現する様々な環境を工学的にデザインし、福祉やユニバーサル社会の発展に寄与する「人間環境デザイン工学科」、工学・医学・臨床現場に精通した広範囲な知識を持つ新しいエンジニアを育てる「医用工学科」の 6 学科からなっている。



生物理工学部（和歌山県）

医学部は1974年に設立された。「人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される」医師の育成を目指す。総合大学の医学部として、文理融合プログラムや薬学部との合同講習会などを通して、倫理とプロフェッショナリズム、コミュニケーション能力など医師としての人格形成に努めている。ライフサイエンス研究所、東洋医学研究所などの研究施設や近畿大学病院などを抱えている。



医学部（大阪府）

文芸学部が開設されたのは1989年である。文学科（英米文学専攻、国文学専攻）、芸術学科（演劇・芸能専攻、造形美術専攻）、文化学科でスタートした。現在は文学科（日本文学専攻、英語英米文学専攻）、芸術学科（舞台芸術専攻、造成芸術専攻）、文化・歴史学科、文化デザイン学科となっている。さまざまな産学連携プロジェクトに力を入れており、学生は企業と連携し、実学として商品開発やデザインなどを学ぶことができる。



D館（文芸学部芸術棟）

総合社会学部の開設は2010年である。「現代社会を生きることを意味を改めて基本のところから考える」学部と位置付けている。具体的には、社会学や心理学を中心に勉強する専攻やコースがあり、社会に向けて情報発信するメディアや、社会を取り巻く環境や身近なまちづくりを学ぶ専攻やコースがある。1年次では、少人数制のゼミを中心として、多様な分野の基礎を幅広く学ぶ。2年次では、各専攻に分かれてテーマを絞った学びで専門性を高める。3年次以降は、専門専修（ゼミ）での研究で、より専門的な学びに取り組み、4年次に卒業論文や卒業制作に取り組むことになっている。

国際化、情報化社会にも対応

2016年に開設されたのが、国際学部である。1年次の後期から留学し、帰国した学生は2年次後期から「専門基礎科目」を履修する。交換留学生用のプログラムで開講されている講

義と共通にしており、留学生と一緒に学ぶことができる。「専門科目」には、「言語入門」、「コミュニケーション学」、「多様性と世界を理解する視点」、「グローバル・イシュー入門」、「アジア学入門」、「地域研究入門」があり、3年次以降の専門性を求める学習への適切な導入となっている。「グローバル専攻」と「東アジア専攻（中国語コース、韓国語コース）」がある。



英語村 E3[e-cube]、誰もが気軽に“英語”に触れられる施設。

2022年4月には15番目の学部として、情報学部（情報学科）が開設された。かつて技術者として、ソニーで、ゲーム機で世界的なヒットとなったプレイステーション（プレステ）を開発、経営者や実業家でもある久夛良木健氏を学部長に迎えた。1学部1学科構成で、情報学科に三つのコースを設けた。最新のAI技術を学ぶ「知能システムコース」、最新のセキュアなネットワーク技術やサイバーセキュリティ技術を学ぶ「サイバーセキュリティコース」、メタバースやデジタルツインに代表される情報社会とリアル社会が融合する情報システムを「実世界コンピューティングコース」である。

大学は本部があり、多くの学部のある東大阪キャンパスのほか、医学部のある大阪狭山キャンパス、農学部の奈良キャンパス、生物理工学部のある和歌山キャンパス、工学部の広島キャンパス、産業理工学部の入る福岡キャンパスと西日本一帯に広がっているのが特徴である。東大阪キャンパスには、法学部、経済学部、理工学部、建築学部、薬学部、文芸学部、総合社会学部、国際学部、情報学部、短期大学の学生が学んでいる。

近年、大学の名を高めたのが、海のダイヤとも言われるクロマグロの養殖の成功であろう。大学では 1948 年に和歌山県白浜に臨界研究所を設置、養殖法の研究に着手。ヒラメの人工ふ化に始まり、1970 年からはクロマグロの養殖研究が始まった。クロマグロの完全養殖に成功するまでには 30 年以上の試行錯誤があった。完全養殖に成功したのは 2002 年、04 年には初出荷した。2013 年からは、養殖マグロやタイなどの養殖魚専門料理店「近畿大学水産研究所」を大阪や東京などに出店、人気を博している。



近畿大学水産研究所

海外の大学、機関との間では、51 개국・地域の 267 大学・機関と協定を結んでいる。外国人留学生の入学試験の成績が特に優秀な留学生に対しては、学費の特待生制度がある。大学院、学部とも 5 人以内を対象に授業料が全額免除される。ほかにも近畿大学としての奨学金制度を設けている。また、日本人学生がサポーターとなり各種交流会、イベント企画、交換留学生の受け入れサポート、短期受け入れプログラム、留学生に対するキャンパス案内などの活動を実施している。日本企業などへの就職を希望する留学生に対しては、企業へのアプローチの仕方、履歴書の書き方、マナーや身だしなみなど就職活動に必要な情報を就職活動に有利に展開できるような体制を敷いている。外国人留学生数は学部が 434 (うち女性 139) 名、大学院は 56 (うち女子 18) 名である。(2022 年度)

学部学生全体の数は、34156 (うち女性 11035) 名、大学院は修士課程 1093 (女性 223) 名、博士課程 195 (女性 56) 名である。教員数は専任教員が 2268 名、非常勤教員 3578 名、合計 5846 名である。(以上 2022 年 5 月現在)



- ACADEMIC THEATER

学長は細井美彦氏である。京都大学農学部畜産学科卒、同大学大学院修士・博士課程修了。農学博士。近畿大学では1993年生物理工学研究所講師、97年生物理工学部助教授、2002年から教授、2010年から生物理工学部長、先端技術総合研究所長、副学長を歴任。2018年4月から現職。専門は生殖生理学である。

日文：滝川 進
写真：近畿大学 HP